

● 2015(平成 27)年度 愛光幼稚園 事業報告

- 1、施設名 愛光幼稚園
- 2、種別 保育所
- 3、定員 90名
- 4、園長名 三島良子
- 5、職員 常勤 18名・非常勤 8名
- 6、27年度 児童の動向

年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
0才児	9	11	14	16	16	17	17	17	17	17	17	17
1才児	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
2才児	19	18	18	18	18	17	17	18	18	17	17	17
3才児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
4才児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
5才児	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11
合計	95	96	98	100	100	99	99	100	100	99	99	99

7、事業内容

モード・パウラス先生の提唱された、キリストの教え「謙遜・献身・愛」にたちキリスト教保育の年主題「平和をつくる」を基に、すべての子どもにとって最もふさわしい生活の場となり、親(保護者)への支援を大切に、保育に対する専門性を発揮して、保育者が質の高い保育を提供できるように努力した。保育園にとってはパートであっても保護者にとっては大切な子どもを保育する職員です。能力や保育の質の問題に非常勤だからとの言い訳は通用しない。まして、子どもたちは、正職員・非常勤の区別なく等しく接し、保育する重要な仕事であるため非常勤の仕事に対する意識を高め、保育園の質の向上にもなる事から、外部に出掛けての研修の機会もなく、園内研修を非常勤中心に実施し、全職員のレベルが高まることを期待した。アンケートを実施し参加者のほとんどから研修に参加してよかったとの声が多かった。地域に根ざし、これからも愛され信頼できる保育園となるよう運営した。

8、一時保育自主事業

子育ての援助を必要とする家庭はなかった。

9、家庭や地域社会との連携等について

- 1) 園と家庭との連絡を密にするために、年度当初に年間保育計画や事業計画を配布し又年報「ぶらんこ」、毎月「愛光だより」、毎週「週報愛光」を発行し、保育や行事に対する各家庭の理解と協力を求めると共に、個々の子どもの様子については必要に応じて連絡帳

に記入し、登降園の際(送迎時の対応として)に保護者と直接話し合うよう努めた。保健衛生・危機管理等に関する情報等を随時提供した。

又、出来るだけ保育参観・発表会や遠足・運動会・敬老のつどい・クリスマス等の行事を実施して、園と家庭が連携して子育てにあたるようにした。

2) 地域の高齢者と園児の交流事業も年 4 回実施し、高齢者への思いやりの気持ちを培うようにした。また、園開放や校区の子育てネットワークの会を通して、地域の子育て支援にも協力した。昨年度から 4 町内のいきいきサロンが当園で開催され、保育園が地域の拠点となり園児との交流を行った。

3) 地域の異年齢児との交流事業も愛光まつりや運動会・ふれあい広場・夏祭り・毎週の教会学校等を通じて交流を深めた。

4) 小学校との連携

子どもの連続性を踏まえた幼児期の教育から小学校教育への円滑な交流・連携・接続を考え、校区の 4 ヶ園の園長と小学校長・教頭との話し合いを 9 月と 1 月の 2 回はとても貴重な時間となった。これからも子どものよりよい育ちを繋げていくことが必要である。

◎ 地域活動事業

① 子育て支援事業(招待行事)=園主催

7月7日 七夕の集い

3月3日ひなまつり会

② 子育てマップ会への参加=校区社協主催

③ 地域へ子育ての集い

親子ふれあい広場 11月7日ベビーマッサージ・親子わらべうた・手作りおもちゃ等があり、楽しく笑顔が見れた親子の集いであった。

④ 園開放 月～金 午前 9:30～11:30 利用者は月に 1 人

⑤ 夏祭り 200 名程度の参加者

⑥ 運動会 10月3日にフードパルで開催した 卒園児も含め 200 名以上の参加があった。

⑦ クリスマス 12月19日に保護者を含め 150 名以上の参加となる。

⑧ 教会学校 こどもたちへの伝道となり、卒園児も対象にしている。

月平均 4 名の出席となる

◎ 世代間交流事業

① フォレストお話し会 6/4 に出かけ交流した。

② 慈愛園ディーサービス訪問 2/22 に交流しました。

③ 高齢者と園児のふれあい広場 (校区社協主催・熊本市の補助事業)

4/28・10/29 当園担当町内 2・4 町内 参加者:高齢者 20 名

園児職員 33 名

④ 敬老の集い(園児祖父母) 9/7 祖父母 59 名参加 欠席 4 名

- ⑤ いきいきサロン 地域のひとり暮らしの高齢者との交流
 7月7日 七夕の集い 20名(ささえりあ2 校区社協2 含む)
 3月3日ひなまつり会 18名(ささえりあ1 校区社協2 含む)
- ⑥ ディーサービス ぽぽろ交流会 10/9 参加者:高齢者 26名

10、保育活動の実践

子ども達ひとりひとりが自分を出しきって、園生活を楽しみ、自主性を育てるよう努力すると共に、個々の発達段階を理解して、保育者の愛情と経験・知性や技術がひとりひとりの子どもに充分に向けられるよう配慮しながら月々の保育計画を実践し展開した。

課 題	内 容	備 考
① 年間・月間・個人 カリキュラム指導 目標作成	年齢 個人 季節に応じた保育立案作 成保育実施 記録作成	・0歳～5歳
② 親子参加行事	親子のふれあい 周りとの関わり等を 深め、より豊かな体験や交わりを通し て安定した集団生活を楽しむ	・ファミリー遠足・運動会 ・夏祭り・ふれあい広場 ・クリスマス
③ 宗教教育	神さまによってひとりひとり造られ 大切にされていることを通して自分と 同じく人を大切にすることを学ぶ	・合同礼拝は週1回(1歳～5歳)
④ 絵本の貸し出し	絵本を通して親子との会話や関わりを 深め、心豊かな子育てをめざす。	

11、職員会及び園内研修

職員の資質向上となるよう積極的に行われた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	4.21	12.19	2.16	7.23	7.19	2.16	16.21	4.24	19.22.	19	9.16	10

(職員研修内容)

スキルアップ保育園合同研修会 総合財団による研修

- 5/29 シリーズ1 「キリスト教保育者」とは
 6/26 シリーズ2 「コミュニケーション技術向上」
 7/10 シリーズ3 子どもの急変時対応研修
 8/28 シリーズ4 「震災例による防災研修」
 9/11 シリーズ5 「保育士としてのあるべき姿とは」

- 10/16 シリーズ6「発達障害の理解」について
- 11/13 シリーズ7「発達障害児と小学校との連携についての理解」
- 12/4 シリーズ8「保育リスクマネジメント」
- 1/8 シリーズ9「発達障害への支援の実際」
- 2/21 シリーズ10「ひとり親家庭の現状と課題について」

(園内研修内容)

- 4/7 新入園児についてのケース会議
- 6/9 梅雨期・夏期に流行する感染症
- 8/19 結核性硬化症について
- 2/2 インフルエンザの症状、風邪との違い、症状改善のための注意点
- 2/15 ケース検討会議
- 3/10 EBウィールス・溶連菌感染症について

職員の研修について

神水教会牧師による聖書研究会や園内外の研修や研究会にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。

① 派遣研修

研修区分	研修内容	研修内容
法人	慈愛園新任職員研修 会計研修	管理者セミナー マイナンバー研修会
キリスト教保育連盟	春期保育者研修会 熊本地区秋季保育者研修会 熊本地区園長会	九州部会園長会 九州部会主任者研修 熊本地区職員クリスマス
ルーテル関係	るうてる法人連合会 幼保セミナー	るうてる幼保連合会全国研修会
熊本市公私合同研修	乳児保育研修会 人権保育研修会 保育研修 保健衛生研修会 園長主任研修会 衛生研修会	障がい児研修会 入所事務説明会 保育所給食説明会 保護者支援研修会 熊本市食育推進ネットワーク連絡会 人権虐待保育研修
中央ブロック	保育士研修会 部会連携研修会	園長研修 主任保育士研修会
給食部会	調理師研修会 ネットワーク実務者会議 衛生研修会 食の安全セミナー	ブロック給食部会研修会 給食部会全体研修会 給食説明会 食育ネットワーク地域研修会

熊本市保育園連盟関係	看護師研修 運営管理研修会 就学前人権研修 サマーナイト新制度セミナー 子育て支援研修会 リーダー研修会	保育士全体研修会 乳児保育研修会 園長委員会 女性部研修会 保育研究大会 主任保育士研修
熊本県保育園連盟関係	県市合同女性部研修会	緊急セミナー
託麻原小学校関係	子育てネットワーク研修会 小学校訪問研修会 社協理事研修会 校区園長会 ケース検討会	幼小中連携研修会 笑顔いきいき特別支援研修 小学校接続会議 校区運営委員会 コミセン理事研修
熊本県	幼保連携事業者説明会 苦情解決委員研修会	会計実務研修 人権啓発セミナー
その他	九州合同研修	上田労務士研修会
熊本市保育園連盟	園長 三島良子は、中央ブロック長として励んだ	

② 園内研修

幼児期の発達心理	・質の高い保育をめざし0歳～5歳の年齢別内容を佐沢智恵子先生より学ぶ
実施日	10/16.10/19. 11/13.1/8

(子どもの観察)	困り感のある子どもへの観察・指導
実施日	10/19・12/25・1/9・1/13・2/16

12、給食について

- ・ 子どもの発育における重要な部分と位置づけ、子どもたちの健康・健全な心身の成長を願い、栄養豊かでおいしい給食の提供に努めた。
- ・ 給食は栄養のバランス及び季節感に留意して献立に反映した。
- ・ 月1回の給食職員・園長・主任・担当保育士が加わった献立検討会での話合いができないこともあった。しかし、保育士と調理師が一体となり「食育」に力を入れ家庭での食生活と子どもの食事について関心をもってもらおうよう協力体制をつくった。
- ・ 2015年度食育計画通りに、媒体等を用い、毎日の給食、おやつ時の声掛け当番活動を進める事ができた。
- ・ クッキング計画は計画通りに進み、その時々に応じて対応した。各クラスの活動には、体験できるよう環境を整え、栽培・収穫を積極的に取り入れた。
- ・ 子ども達の怪我も無く、小さいプランターでの栽培物に感謝し育てた。
- ・ 衛生・安全面には十分注意した。
- ・ 楽しい雰囲気です食事をしながら自然と身につけていけるよう工夫していきたい。
- ・ 食への感謝をもってもらい 又、食べる喜びと共に感謝して食べるよう指導した。

13、安全指導について

- 1)安全に関して、防災計画を作成し、火災・地震・交通と各々について訓練を実施した
- 2)ねらいにある「安全に必要な基本的習慣や態度、挨拶を身につける」というところで、挨拶や返事は、自主的にできるよう、ねらいや目標にしたい。
- 3)登降園する門のカギを子どもが触ることのないよう保護者に伝え、大人のみが開閉するよう伝えた。
- 4)散歩の時、横断歩道に行つての実地指導を行った。手をつなはず、ウロウロする子もいた。また、保護者と園の前の道路を渡る時、横断歩道を渡ってもらい交通安全には気を付けたい。
- 5)年中・年長が感謝祭の慰問は防災センターにでかけ火災や台風の怖さを実感した。消防車に乗せてもらい、たくさん見学させて頂いて学ぶことが多かったのではないかと思う。
- 6)不審者に対してのマニュアルづくりと職員間の周知をはかることができた。
- 7)園外に出かける時、防犯バルを毎回携帯することは定着してきた。
- 8)二次避難のとき誘導ロープや散歩車は必要で、おんぶ紐や誘導ロープの購入は前年にして対応したが、もう1台の散歩車を購入したことで安全に取り扱いも出来ていた。
- 9)保育環境の整備については、安全点検簿に基づき、毎月又は毎日点検し、必要に応じて補修・整備を行った。
- 10)非常階段のドアが外開きなので、2階部分でドアを開けると3階から避難して降りてきた子どもたちが通れる十分なスペースが取れず迅速な避難ができないという事があった。
- 11)非常階段に馴れていない小さいクラス(2.3歳児)は普段の保育で使用する等して、昇降する機会を取り入れた。
- 12)定期的に備蓄品の確認をチェックリストに基づき、早い時期に紙おむつや粉ミルクを見て、消費期限や保存方法を確認するように行った。散歩車を1台は広げた状態で固定しカバーを取り付けたことにより、迅速な避難が可能となった。

14、保健衛生について

健康管理の実施状況

種 目	状 況
① 身体測定	毎 月 0 歳 ～ 5 歳 全員
② 内科健診	嘱託医 すどう・きたの医院 須藤先生 実施日・・・4/17. 4/24.10/21.10/23 全員異常なし
	当日 受診できなかった園児は他の日に受診完了
③ 蟻虫検査	6/10 全員異常なし。

④ 歯科検診	嘱託医 木村歯科クリニック 木村院長 検診日6/5
	当日 受診できなかった園児は他の日に受診完了
⑤ 口腔衛生	開始より6年目熊本市中央保健福祉センターの指導
フッ素洗口	対象児・・・4歳児・5歳児 月～金 毎日
⑥その他	職員 年1回健康診断 調理関係者・0歳児に関わる職員：毎月腸内細菌検査

- 1)園児には、年間を通して手洗い・うがい、着替え、汗拭きなどの習慣づけを行った。また、適度な水分補給や紫外線・PM2.5の情報と対応についてはマニュアルに沿って適切にできた。
- 2)職員は、日赤健康管理センター及び成人病予防協会を通して定期健康診断を実施、又、毎月、検便も実施、園児への健康安全について配慮した。また、健全な心身のためには、職員の自己管理による日常的な健康状態の維持の努力が大切であり、日常的な生活リズムを整え、常に良好な状態で勤務するのは、職員の義務であるので、施設長としても絶えず注視し、対応した。
- 3)厚生労働省の保育所ガイドラインに沿って園児の感染症に対応した。関係機関への報告が義務付けられ、拡大を防ぐため保護者への協力を依頼した。また、今年度は園内でインフルエンザが流行した。近隣の施設等と情報交換を行い防げることがあれば積極的に取り組んだ。
- 4) AED についてしっかりと園内研修で学ぶ事ができた。

15. 実習生の受け入れについて

実習生の受け入れに関しては、下記の県内各学校より委託され、保育士や看護師、社会福祉等をめざす、人材の育成に協力すると共に、高校生の体験学習の場も提供した。

学校名	実習期間	人数
尚綱短期大学 幼児教育学科	8月18日—31日	1名
帯山中学校 ナイストライ	9月8日—10日	3名
白川中学校 ナイストライ	9月15—17日	3名
熊本学園大学社会福祉学部3年	8月31日—9月12日	2名
熊本学園大学社会福祉学部2年	2月22日—3月5日	2名
YMCA専門学校 児童福祉教育科	11月5日—11月20日	2名
九州ルーテル学院大学 こども専攻	2月22日—3月5日	1名

16. 福祉サービス苦情解決について

<第三者委員>	坂口寛治	(湖東学園大学非常勤講師)
	合志郁子	(託麻原校区主任児童委員)
<愛光幼稚園>	三島良子	(苦情解決責任者)
	川久保彰子	(苦情解決受付担当者)

意見や要望等の報告・・・・・・・・・1件

第三者委員の坂口寛治・合志委員へ 保育園の現状と苦情内容を報告

1、朝の9時に隣家の方より直接ピアノの音がうるさい。窓を閉めてほしい。

直ぐに対応できることは改善し努めていくようにした。保護者へも現状や経過報告を伝える機会として、総会の折 説明した。また、第三者委員の坂口先生を招いて行事の時に保護者へ口答で伝達していただいた。

2015年度 活動報告

愛光幼稚園

月	日	行 事	付 記
4月	1	建物点検日	園内外を点検し点検報告を行う
	4	入園・進級式	新入園児 15名を迎える
		新年度説明会・クラス懇談	全保護者対象に重要事項説明をする。
	6	イースター礼拝	復活を園児と共に礼拝を守るイースター礼拝を守り、復活を喜ぶ
	8	体育教室始まり	(すみれ・ひかり組) 毎週水曜日
	13	第三者委員会	第三者委員の2名に園の状況を報告し助言を頂く
	21	幼年消防クラブ結成式	中央消防署の指導による幼年消防クラブ結成式を行う (すみれ・ひかり組)
	21	避難訓練	(毎月第四火曜日定例)
	23	誕生会	毎月定例行事 第三木曜日
28	校区高齢者と園児のふれあい広場	すみれ・ひかり組 29名と校区の高齢者 14名が下油田公園まで散歩して一緒に食事する	
5月	9	ファミリー遠足	カントリーパークへ
	12	音楽教室始まり	(ゆり組) 毎週火曜日
	13	教会学校始まり	ひかり組 11名と小学生
	25	チューバマンショー	ひかり幼稚園の子どもたちと一緒に演奏を聴く
	28	すみれ組クッキング	ホットケーキづくり
	29	交通安全教室	熊本市生活安全課より指導していただく
6月	4	フォレスト交流会	老健施設フォレストにてひかり組 11名参加
	6	第一回愛光会役員会	愛光会保護者役員 20名参加
	8	花の日礼拝・慰問	礼拝後 東水前寺交番などへ花束にカードを添えて訪問する
	12	プラネタリウム見学(ひかり組)	ひかり組 11名熊本博物館へ行く
	18	保育参観	各クラス保育参観
	19		育児講座 講師 白鳥 哲氏
	18	ひかり組クラス懇談と給食試食	ひかり組保護者 10名と担任が懇談する
25	すみれ・ひかり組クッキング	夏野菜カレー作り	
7月	3	プール開き	事故のないようプールを囲んで礼拝する
	2	フォレスト交流会	老健施設フォレストにてひかり組 11名参加
	2	すみれ組クラス懇談と給食試食	すみれ組保護者 9名と担任が懇談する
	7	七夕のつどい	未就園児を招いて七夕の飾りを囲んで集まりをする
	17-18	お泊り保育(ひかり組)	ひかり組 11名参加、金峰山少年自然の家にて
	21-24	すみれ・ひかり組プール教室	すみれ・ひかり組 29名参加
	25	愛光まつり	夏の夕べにさかなつりコーナー、輪投げなどを家族と楽しむ

8月	24	保育園交流	阿蘇のYMCA永草保育園にてひかり組 11 名と角本先生による礼拝と交流
9月	1	プール納め	事故もなく過ごせたことを感謝し礼拝する。
	3	ばら組クラス懇談と給食試食	ばら組保護者9名と担任が懇談する
	5	第二回愛光会役員会	愛光保護者役員会でふれあい広場の話合い
	7	第三者委員会	第三者委員の2名に園の状況を報告し助言を頂く
	7	敬老の日のつどい	園児祖父母64名を招き交流後、茶話会をする
	8-10	帯山中学生職場体験	帯山中学生3名のナイストライ
	15-17	白川中学生職場体験	白川中学生3名のナイストライ
10月	15	市監査	熊本市役所の指導監査課より3名が来園
	3	運動会	食品交流会館フードパルにて園児 100 名と職員 21 名
	9	ディーサービスぽぼろ交流会	ディーサービスぽぼろにてひかり組 10名参加
	27	芋掘り遠足	貸切バスで広安愛児園へ行き、いもほりを楽しむ(3歳児以上)48名と職員6名
	29	校区高齢者と園児のふれあい広場	校区の4つの保育園児と高齢者の方との交流と食事を共にする
11月	30	すみれ・ひかり組クッキング	いきなり団子づくり
	2	げんきっずフェスティバル	学園大学祭へすみれ・ひかり組 29 名参加する
	4	ボランティア清掃活動の日	三角公園を清掃奉仕する
	5	ゆり組クッキング	クッキーの型抜き
	7	ふれあいひろば	ベビーマッサージ・わらべうたあそび・親子体操等楽しい親子の集い。
	9	幼児祝福礼拝	角本牧師より祝福をいただく
	9-12	たてわり保育(ゆり組以上)	異年齢のグループで保育する
	16	木の学習会	「ペペらん」さんの読み聞かせをすみれ・ひかり組が聞く
	20	ひとり暮らし慰安会	ひかり組が皆さんの前で遊戯を披露する
	25	立田山散策(ひかり組)	ひかり組11名でJRに乗り立田口で降りて立田山まで歩く
12月	26	感謝祭礼拝・慰問	家庭より果物・野菜を持ち寄り感謝の礼拝をする
	27	防災センター見学	防災センターで台風や火災の実体験を、すみれ・ひかり組 29 名が参加する
	2	教会学校クリスマス	教会学校の小学科3名と幼稚科 11 名で讃美歌をうたう
12月	5	第三回愛光会役員会	愛光保護者役員会の反省会
	19	園クリスマス	神水教会のポーマン牧師を迎えて、礼拝と祝会をする

1月	6	新年礼拝	全職員と全園児一緒に新年のあいさつをして、礼拝を守る
	6	同窓会	小学生36名旧職員3名と一緒に人形劇を鑑賞する
	7	すみれ組クッキング	七草がゆ
	12・13	ひかり組スケート教室	ひかり組11名参加、アスパにてスケートを楽しむ
	20	ひかり組クラス懇談	ひかり組保護者10名と担任が懇談する
	25	ひかり組クッキング	もちつきと雑煮作り
	28	総合防火訓練	中央消防署の立会いの下で実施した
2月	3	豆まき	未就園児を招いて豆まきをする
	8	愛光幼稚園創立記念礼拝	角本牧師と元園長門脇先生と共に創立68周年記念礼拝を守る
	18	なかよし交流会	託麻原小より招きを受けてひかり組10名が参加
	20	保育参観	各クラス保育参観
		育児講座	保育参観後に育児講座を佐藤レイ子先生のわらべうたあそびをする
	25	すみれ組クッキング	育て野菜で味噌汁作り
	22	神水子ども礼拝(ひかり組)	ひかり組16名は、ひかり幼稚園の年長児と共に神水教会で礼拝をまもった後交流を深める。一緒に食事をして帰園する
	22	慈愛園ディサービス慰問	神水教会で礼拝をまもった後、ディサービスに慰問。
3月	25	すみれ組クッキング	育てた野菜で味噌汁作り
	3	ひなまつり会	未就園児を招いてひなまつりを祝う 地域母子4組
	3	いきいきサロン	校区4町内の高齢者18名の集まり
	4	ひかり組天翔台登山	ひかり組10名がJRに乗って三角駅で降りた後、歩いて天翔台登山をした
	11	ひかり組クッキング	鰯の手開き・団子汁作り
	12	第四回愛光会役員会・懇親会	愛光保護者役員会の会計報告終了後は、懇親会20名参加する。
	16	ゆり組クッキング	収穫した野菜でお好み焼き
	16	レストラン食事マナー	ひかり組10名はレストランで食事マナーを学ぶ
	18	幼年消防クラブ修了式	ひかり組10名に中央消防署より幼年消防クラブ修了証書が手渡される
	23	おわかれ会	ひかり組10名で企画した集会後、3歳児以上でバイキング式で昼食を楽しむ
26	卒園式	ひかり組10名が卒園する。	